

明の十三陵を訪れたみなさん



悠久の歴史 喧騒の世界を体感

青少年海外視察研修

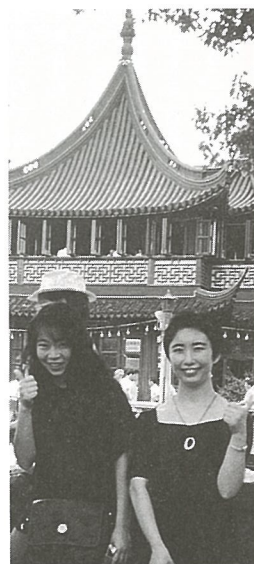
青少年のみなさんに国際感覚を身につけていただく光町青少年海外視察研修が夏休みに入った7月27日から31日までの5日間行われ、中華人民共和国の北京市・上海市を訪れました。上海市黄浦区少年宮での地元小中学生（6歳から12歳まで）との交流、万里の長城、故宮、天安門広場などを見学し、貴重な体験をしてきました。

土屋和代さん（宝米）・越川美由紀さん（二又）・佐久間貴之さん（小田部）・草葉香代子さん（橋場）・大木範彦さん（入）・越川友恵さん（谷中）・大木泰生さん（木戸）・山辺秀考さん（木戸）・伊藤康代さん（尾垂五区）のみなさんが参加しました。

町青少年海外視察研修に参加した動機は、中国の歴史と現状の違い、また子ども達の様子を観察したいと思ひ応募しました。

北京2泊、上海2泊の4泊5日の研修でした。海外旅行初めての私にとって北京空港に着いた時は「海外に来たんだ」と実感しました。北京空港は成田空港とは違い薄暗く、雑然とした様子でした。地方の人が都会に出てきた時のようにぐろりと見渡してしまいました。……と同時に身の回りの所持品をしっかりと握りしめていました。

マイクロバスに乗り込み道路を走っている時、道が広くみすべで北海道のような感じを受けました。が市街に入ると自転車の多さには驚きました。だいたい予想していたのですが、予想をはるかに超えていまし



上海の豫園で
左が草葉さん

橋場 草葉香代子

た。ものすごい交通量、中国では恐くて車は乗れないと思つた程です。

「景山公園」「万里の長城」「故宮」「天安門」と

ただただ感動するばかりの中国



「少年宮」はインパクトが強く、「中国に来ているんだな」と思いました。

「景山公園」の階段を登り頂上に着き、壮大な故宮を見た時は感動しました。

そして実際に訪れて見ると目を見張つてしまいました。何と言ひ表したらよいのか、ただただ感動するばかりでした。「中国に来て良かったな」と思いました。

「万里の長城」はテレビなどで見た時と同じような景色が広がっていました。北方騎馬民族の侵入を防ぐために築いた城壁、そして秦の始皇帝が農民を動員して完成させたという万里の長城、雄大さを感じました。万里の長城を踏みしめて思つた事は、侵入を防ぐために築いたとはいへ、城壁の低さには驚きました。これでは馬が乗り越えてしまうのも分かる気がします。また月から見える建造というのは納得できます。

「少年宮」では、就学児前の子どもが人民樂器を熱心に集中して弾いているのに驚きました。踊りに演奏、驚嘆の連続でした。英才教育というのをつくづく感じさせられました。

不安だったトイレは、ホテルやレストランなどはドアや力ギがついていて良かったのですが、観光途中に入つたトイレには驚きました。3角（元の下に角とい

うの）があり、1元13円位）払つて入つたトイレは……ドアはついてなく間仕切りだけで、きんかくしは通路側を向いており便器の下には水が流れているといった状態。水洗トイレでドアも力ギもついていないのがあたり前と思つている私達にとってはショックを受けました。食事は本場の中華料理といふことで油がとても多くあまり口に合いませんでした。前回参加した方も言つていた通り北京ダックはおいしかったです。あつという間になくなってしまつた程です。パッタの揚げ物にはあまりにもグロテスクで食べるのもちろん見るのも気が引けました。

研修はとてもよい体験、勉強させていただき楽しく過ごす事ができました。ほんの少しでも中国語が話せればもっと楽しく違った印象が受けられたと思います。また機会があれば中国を訪れてみたいです。

参加させていただき、本当にありがとうございました。

【写真】少年宮で子どもたちの人民樂器の演奏を聴き驚きのみなさん。